図解 千年王国 Millennial Kingdom

創作の背骨を強める聖書的設定

- 王都エルサレム
- 君主キリスト
- イスラエル民族
- 復活の聖徒
- 異邦人諸国

これらを丸ごとひっくるめて、「千年王国」を構成する。

千年王国は数ある国のうちの一つ ✗



千年王国の範囲は地球全体。中心的な都市はイスラエルで、他の国々は支配下にある。

大国「千年王国」とその他大小の国々 ✗



国の大小にかかわらず、全ての国は千年王国の構成国（民主制ではなく専制君主制）

✗よくある誤解

千年王国という異世界またはユートピア ✗



人類の未来に興る現実の王国なので、異次元空間に浮かんでいるのではない。

「千年」を比喩的に扱っている ✗



文字通り千年続く王国。逆に言えば千年で終わる。「長い期間」の比喩ではない。

千年王国にないもの

未信者



（千年王国スタート時）

「大患難時代」の終わりに、未信者・異教は全て排除されると言われています。少なくとも千年王国スタート時はクリスチャンモノポリーなのです。人類には原罪の影響が残り、子孫の中に、メシア統治に反抗する人々が生まれてくると考えられます。未信者は将来的に火の池に投げ込まれます。

サタン



主要ヴィランは地下1000年の強制オフラインとなります。千年の終わりに封印が解かれ、神に最終決戦を挑みます（すぐに火で焼き尽くされます）。なぜ、誰が、どうやって封印を解くのか？　聖書には書かれていません。つまり……あなたのファンタジーのターンです！

戦争・軍備



（騎士、剣とかの武器）

「剣は鍬に打ち変えられ」「国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない」との預言があります。原罪は残るので、人々の心が常に平安というわけではありません。千年王国における「戦い」とは何か、何とどう戦うのか、独自の設定を深めることができます。

人外・魔法



（エルフ・ドワーフ）

千年王国は超自然と現実感の隣り合わせです。エルフやドワーフや魔法は……出てこないと考えましょう。聖書は、あくまで神の創造の冠である人類を、救済する啓示の書なのです。

最高統治者 メシア

王の中の王。大祭司として人々の罪を裁き、またとりなす。千年王国を知るには、メシアとは何者かを知る必要がある。

最高峰がイスラエル 王座はエルサレムに

イスラエル民族は超特権階級として地上の最上階（物理）に住まう。馬の鈴から台所の鍋や鉢に至るまで、聖なるものとなるらしい。（ゼカリヤ書）

統治者としての聖徒たち

復活の聖徒たちの主な役割は諸国の統治。神の国の中間管理職。異邦人は王の臣下であり、イスラエルのしもべとなる。

「神の国」vs「原罪の残滓」

千年王国に闇があるとしたら、アダム以来の原罪の影響が、1000年の統治期間のうちにじわじわと浸食することだ。

環境

- 7倍の太陽 — エネルギー問題は解消するはず。
- 太陽と同じ明るさの月 — 夜さえまぶしい
- 一番高い山エルサレム — 地形は大患難時代の大地震で激変
- 生命の祝福 — まるでエデンの園 肉食動物も草食に
- 農業の祝福 — 第一次産業は健在 豊かな収穫の約束

7つの世界観構築ヒント

「栄光の姿と聖徒」に注目

「復活の聖徒」には「栄光の姿」という超自然的なステータスが付与されている。「聖なるアップグレード」後の能力は、福音書の「復活のメシア」を参考にすることができる。

国の運営は？政治はどうなる？

千年王国の統治形態は、イスラエル民族と異邦人諸国とに二分される。異邦人はイスラエルのしもべとなる。政治体制から千年王国の人間ドラマを描くことができる。

「呪い」の存在

千年王国では「100歳」が成長の重要な通過点となる。100歳で死ぬものは若かったとされ、100歳に達しない死は呪われている。死産の赤子はないと言われている。また、イスラエル民族は呪いの影響を受けない。

選民 vs 復活組 vs 患難期サバイバー

千年王国の構成員。①選民：特別待遇のイスラエル民族。②復活の聖徒：栄化というステータスカンストで千年王国を「強くてニューゲーム」で乗りこなす。③一般人：大患難時代サバイバーとその子孫。

経済・科学・文化・芸術

「千年王国は人類の未来に興る」という前提と、樹立前には「大患難時代」があるという時間軸がヒントになる。人類の文明はどこまで発展あるいは退廃するのか？大患難時代での破壊レベルは？設定によって千年王国の風景は変わるはずだ。

ヴィランのモチベ

サタンや悪霊の暗躍がない王国時代で、何が敵なのか。「原罪」と、罪の報酬である「死」にヒントがある。人類の最後の、そして最強の的はサタンではなく「死」だ。罪の性質や悪の描写に成功すれば、読者は善の光を求め始める。腕の見せ所だ。

最終決戦は用意済み

「千年王国の結末」は聖書にしっかり書いてあるから、書き換えるわけにはいかない。サタンの解放と最終決戦、最後の審判、永遠の秩序へ向かう「架け橋」が千年王国だ。「世界観の構築」こそが千年王国の真骨頂だ。